

NEWSWAVE

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

発行
株式会社常陽経営コンサルタンツ

〒973-8408

福島県いわき市内郷高坂町砂子田94 番地
TEL0246-27-9110 FAX0246-27-9118

印紙税減税で税務調査が厳しくなる？ 印紙税の取扱いは十分な注意が必要

2013 年度税制改正での印紙税減税を受けて、印紙税の調査が厳しくなりそうだ。領収書などに貼付する印紙に係る印紙税の非課税枠（免税点）が、現行の「記載金額 3 万円未満」から 2014 年 4 月 1 日以降に作成される受取書からは「5 万円未満」に引き上げられるほか、「不動産売買契約書」や「建設工事請負契約書」の印紙税の軽減措置が拡充される。

来年 4 月以後に作成される契約書については、1 千万円超の契約書の税率がさらに引き下げられ、1 千万円以下の契約書についても、契約金額に従って 4 区分に応じた税率を、それぞれ本則税率の半分とする軽減措置が導入される。

改正が行われた部分については税務調査での

チェックも厳しくなる傾向があるので要注意だ。

調査官は、記載金額が 3 万円以上なのに収入印紙が貼っていない領収書を見つけると、白紙の領収書なら架空取引を疑い、記載金額の支払い方法や、払出口座などを確認。またボールペンの色が一部変わっていたり、異なる筆跡が混ざったりしたら、経費の水増しを疑う。数字の頭に 1 を足したり、1 を 4 に書き換えるなどはよくある手口で、インクの色や筆跡、筆圧などの違いから見抜くこともできるという。

印紙税を貼っていないことによるペナルティは納付しなかった税額の 3 倍。消印していない場合は、その収入印紙の額面と同額の過怠税が徴収される。印紙税は会社の必要経費になるが、過怠税は必要経費にできない。印紙税の取扱いには十分な注意が必要となる。

ネットでヒト・モノ・カネを集める 「クラウドファンディング」に脚光

iPS 細胞研究でノーベル賞に輝いた山中伸弥教授が、iPS 細胞の開発研究のための資金援助（募金）に、クラウドファンディング方式を採用した、という逸話は有名だ。研究開発や商品企画、新規開拓には大金がかかり、ベンチャー起業数は伸び悩んでいるのが現状。

今日本で、このネットを介して行うクラウドファンディングが脚光を浴びるのは、一つにはネット社会の定着とネットサービスの熟成度が貢献しているといえる。グーグルなどの様々なネットサービスがあってこそ可能だ。

最近では震災復興に取り組む気仙沼市（宮城県）で、地元の高校生たちが地元産『なまり節ラー油』を商品企画・製造・営業を担い話題になっている。専門的な資金や人材、製造設備、広告制

作等のノウハウはネットを通して多くのプロや賛同者の知恵を借りた。

このようにクラウド（多くの賛同者）とファンディング（資金調達）が揃ってヒト・モノ・カネを一堂に集め、起業が形作られ、販路が定まって市場が形成されていく。気仙沼市の場合、全国の賛同者からわずか 2 か月間で 170 万円が集まり、専門家は手弁当で参加、1 個 800 円のラー油は今年の 11 月から売り出される。

被災地に限らず地方の商店街、地場産業は中央の大資本と少子高齢化の大波に飲まれ苦境にある。クラウドファンディングのサービス会社 8 社が集めた資金は 6 億円を超え増加中という。